

助川中学校 5月23日(火)～24日(水)

宿泊場所：奥日立きららの里

活動場所：日立シビックセンター、笠間工芸の丘、陶芸美術館、笠間芸術の森公園あそびの杜

参加者数：98名

【学年スローガン】

Let's make ダイヤモンド！ ～学んで、知って、一人一人が輝こう～

日程	体験活動名	活動内容
第1日	クイズラリーに挑戦 クッキングチャレンジ	・科学館・プラネタリウム見学 (日立シビックセンター) ・夕食づくり
第2日	クッキングチャレンジ 手ひねり体験 作品鑑賞 自然を満喫しよう	・朝食づくり ・笠間焼(皿・カップづくり) ・陶芸美術館見学 (茨城県陶芸美術館) ・班別活動 (笠間芸術の森公園)



【学年レクについて話し合う様子】

<成果>

- ・「出身小学校のバランスを良くするには……」など、活動の目的をしっかりと意識して班編制について話し合うことができた。準備の段階から事後活動まで、いろいろな話し合い活動を通して合意形成の仕方や友達を思いやる大切さを学ぶことができた。
- ・入学してからまだあまり話したことがない友達と同じ活動班や部屋で寝食を共にしたことで、交友関係の幅が広がった生徒が多かった。
- ・学年生徒会の生徒が集会などで進行を務め、自分たちが運営することの充実感を味わうことができた。リーダー育成ができた。また、各自が自分の役割をしっかりとやる姿勢が見られた。
- ・学校生活だけでは知り得なかった互いのよさを見つけることができ、学級の絆づくりに繋がった。
- ・コミュニケーションの苦手な生徒も参加し、友達との関わりの中でできることが増えた。

<生徒の感想>

- ・違う小学校出身の人や普段話さない人とたくさん話すチャンスがあってとても楽しかった。友達の意外な一面や頼りになる一面を知ることができ、友達との友情を深められた。
- ・友達と協力し合い、友達のよさを尊重できた。友達と一緒に時間を過ごすことの楽しさを知った。
- ・自分のことは自分でやり、みんなで協力できた。困っている人を進んで手伝うことができた。
- ・夕食や朝食づくりを通して、食事をつくる大変さが分かった。時間を逆算して活動することを学んだ。

<保護者の感想>

- ・1日目は、あいにくの雨でお昼がマープルホールになってしまったのは残念でしたが、宿泊先での夕食づくりがとても楽しかったようです。
- ・宿泊班、活動班共に別の小学校出身のクラスメイトと一緒にになったことで、話すきっかけになったようです。
- ・クラスメイトとの仲が更に深まり、とてもよい体験ができて嬉しそうでした。



【ケビンでの夕食づくりの様子】



【手ひねり体験の様子】

平沢中学校 6月8日(木)～9日(金)

宿泊場所：奥日立きららの里

活動場所：かみね動物園、奥日立きららの里、仲町交流センター

参加者数：9名

日程	体験活動名	活動内容
第1日	日立かみね動物園見学	・動物園見学
	奥日立きららの里での体験学習	・野外活動 ・フォトフレーム製作 ・夕食づくり
第2日	うどんづくり体験	・手打ちうどんづくり体験



【話し合い活動の様子】

<成果>

- ・話し合い活動では、仲間の意見を真剣に聞く態度や、自分の意見を分かりやすく相手に伝える力が身に付いた。
- ・分担された役割に真剣に取り組むことで、主体性や責任感を育成することができた。
- ・困っている友達に手を差し伸べたり、お互いに助け合ったりするなど、思いやりの心を育むことができた。
- ・お世話になった方々に対して、心を込めて感謝の言葉を述べることができた。

<生徒の感想>

- ・クラスみんなで協力できた。これまであまりしゃべらなかった友達とも話すことができた。
- ・先生に聞く前に、自分たちで考えて行動することができた。
- ・男女関係なく、自分からコミュニケーションをとることができた。友達との距離が近づいた。
- ・朝食づくりでは、決められた役割を果たすことができた。
- ・色々な人や先生たちに大きな声であいさつをすることができた。
- ・自分がやったことがない事や無理だと思っていたことに挑戦することができた。

<保護者の感想>

- ・普段できない体験でしたので、親子共々楽しく参加させていただきました。子供にとっても私たち親にとっても忘れられない思い出になりました。
- ・クラスメイトと楽しく活動した話が聞いて良かったです。
- ・タイムラインの写真で子供たちの様子を知ることができて良かったです。お互いの良さや自分の事を知る良い機会になりました。



【朝食づくりの様子】



【うどんづくりの様子】

駒王中学校 6月2日(金)～3日(土)

宿泊場所：奥日立きららの里

活動場所：駒王中学校、カスミ日立神峰店、サンユウ若葉店、ウエルシア日立本宮店、奥日立きららの里、日立シビックセンター（天球劇場、科学館）

参加者数：95名

【学年スローガン】

「笑顔で！そしてFRESH！！～新たな一步を踏み出そう！～」

日程	体験活動名	活動内容
第1日	クラスマッチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミッションリレー、先生クイズを体育館で実施</li> <li>・夕食のサラダ、朝食の材料を購入</li> <li>・カレー作り、サラダコンテスト</li> </ul>
	買い物活動	
	夕食づくり	
第2日	星空体験学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラネタリウムを見学（天球劇場）</li> <li>・科学館を自由見学（科学館）</li> </ul>
	科学体験	



【話し合い活動の様子】

<成果>

- ・準備や計画では実行委員や班長、係長が中心となって主体的に話し合い活動を進めるだけでなく、自分の役割を自覚し考えて行動することで、自主性や責任感を養うことができた。
- ・共同生活を通して、協力すること、助け合うこと、思いやりの気持ちをもつことの大切さを感じることができた。また、あまり話したことがない友達のよいところをたくさん見つけることができ、良好な人間関係を築くことができた。
- ・買い物や食事づくりは食育にもつながり、つくることの楽しさやみんなでつくった食事のおいしさを体感するだけでなく、家族への感謝の気持ちを改めて実感するきっかけとなった。

<生徒の感想>

- ・友達と過ごした、この2日間は一生の思い出です。失敗したことや達成できたことは、心の中に残り続けます。それらを生かして、これからもがんばっていきたいと思います。
- ・ケビンでは子どもたちだけで過ごしたので、少し不安でしたが、みんなで協力したり、常に時計を見て行動したりして、メリハリをつけて過ごすことができました。
- ・自分たちで料理することの大変さや家族のありがたさ、感謝することの大切さを学びました。みんなで力を合わせてつくったカレーはとてもおいしかったです。
- ・同じケビンで過ごした友達と、この行事が終わった後でも気軽に話しかけたり、言葉を交わしたりするようになりました。友達のよいところをたくさん見つけられてよかったです。
- ・2日間を通して、協力や助け合い、自主的に行動することなどを学ぶことができました。これからもクラスの人々と協力し助け合いながら充実した中学校生活を送っていきたいです。

<保護者の感想>

- ・自分から学校での出来事を話すようになり、家族の会話が増えました。
- ・食事等では自然と手伝ってくれたり、「ありがとう」と言ってくれたりするようになりました。
- ・ケビンで友達と過ごすなかで、悩みを友達に相談することができ、解決できたと喜んでいました。
- ・当日は、大雨という悪天候ではありましたが、買い出し、食事の準備等、友達と過ごすケビンでの生活がとてもいい思い出になったようです。
- ・自分たちで計画を立て、準備や役割、手順などを自ら考え協力し合う経験から、成長の姿がみられよい機会になりました。



【買い物活動の様子】



【夕食作りの様子】

滑川中学校 5月30日(火)～31日(水)

宿泊場所：西山研修所

活動場所：西山研修所

参加者数：100名

【学年スローガン】

「 守 全 明 楽 」

団結 全力 明るく 楽しく

～出身小学校のカベをブツ壊せ～

日程	体験活動名	活動内容
第1日	ウォークラリー	・ウォークラリー
	スタンプ	・スタンプ
	ナイトミーティング	・話し合い活動
第2日	野外炊飯 (カレーづくり)	・野外炊飯
	クラスマッチ	・連続八の字跳び、割り箸落とし



【ナイトミーティングの様子】

#### <成果>

- ・計画から当日の運営まで、生徒が主体となって活動し、自分たちにとって良いと思うことを進んでやるという雰囲気が生まれてきた。また、うまくいかないことがあっても、「失敗を失敗のまま終えない」という学年の共通認識の下、原因を考えながら次の行動を考えることができていた。
- ・ウォークラリーやナイトミーティング、野外炊飯などの協働的な活動を通して、生徒が自然とコミュニケーションをとり、出身校の壁を取り払い、人間関係を構築することに役立った。
- ・直前の生徒総会で議題に上った、「いじめや差別のない学校にする」というテーマで、ナイトミーティングを行った。心を豊かにするという行事の目的に合った話し合い活動を行うことができた。後日、話合った内容をもとに、実際の学年や学級における行動のルールを決定することができた。

#### <生徒の感想>

- ・心ゆたかな体験学習では、学習スローガンの「出身小学校のカベをブツ壊せ」のとおり、田尻小の人とも楽しく接することができ、仲のよい人ともっと仲がよくなることができたからよかったです。個人的にうれしかったのが、コロナが少し収まり、たくさんしゃべれるようになったことです。
- ・わたしが心ゆたかな体験学習を通して思ったことは、ウォークラリーやカレーづくりで、みんな全力で楽しんで、しっかりと協力していて最高の思い出になったと思いました。
- ・部屋長会議で出た、認め合い、尊重し合える集団にしたいという意見から、わたしもそんな集団にしたいと思いました。そうすることで、いじめや差別のない、笑顔あふれる学年になると思いました。
- ・心ゆたかな体験学習で、あまり知らない人とも話して、仲良くする機会ができてよかったです。滑川小の人と協力してウォークラリーをゴールできてすごく楽しかったです。二日目のカレーは、班のみみんなと協力し、おいしいカレーをつくることができました。みんなの思いと、協力してできたという達成感が詰まったナンカレーだからこそおいしく感じられたと思います。

#### <保護者の感想>

- ・全員参加できたことが何よりよかったと思います。
- ・みんなとお話できて、すごく楽しかったと家で話していました。
- ・今まであまり話したことがなかった、別の小学校出身の友達と話す、よい機会になったようです。



【ウォークラリーの様子】



【クラスマッチの様子】

## 多賀中学校 6月1日(木)～2日(金)

宿泊場所：奥日立きらの里

活動場所：奥日立きらの里、日立シビックセンター

参加者数：83名

### 【学年スローガン】

「仲間との絆を深めよう！」

日程	体験活動名	活動内容
第1日	野外活動	・ウォークラリー (多賀中→日立シビックセンター) ・夕食づくり(バーベキュー) ・ナイトハイク
第2日	星座鑑賞体験 科学体験 レクリエーション	・プラネタリウム見学 (日立シビックセンター) ・科学館見学 (日立シビックセンター)



【話し合い活動の様子】

### <成果>

- ・学年始めの時期に実施することで、生徒同士の仲間意識を高めることができた。
- ・学年生徒会を中心に、生徒主体の活動を行うことで、リーダーとしての意識を高めることができた。
- ・宿泊を伴う学習を通して、集団行動の約束事(時間を守る、自分の行動に責任をもつ、友達を気遣うなど)を再確認することができた。
- ・3つの小学校から入学した生徒が、様々な体験を通して互いのことを知り合う機会になった。
- ・時間を意識して行動したり、進んで挨拶したりすることを意識して生活できる生徒が増えた。
- ・「友達の良いところをたくさん見つけられた」と回答した生徒が多く見られた。

### <生徒の感想>

- ・仲間を大切にすることや、自分から率先していろいろなことにチャレンジすることが大事だと分かった。
- ・自分たちが中心に話し合い活動をして、先生に言われる前に行動できたところが、体験学習前より成長したと思う。
- ・皆で協力し、友達の良いところをたくさん見つけられると学校生活が楽しくなるし、友達との絆が深まると分かった。
- ・小学校の頃は「仲良くなろう」という言葉にあまり共感できずにいたけれど、新しい環境で仲を深めることはこんなにも大切なのだと分かった。これからも仲良くまとまりのあるクラスや学年にしたい。

### <保護者の感想>

- ・「ウォークラリーは疲れたけれど、友達と問題を解いたり、話しながら歩いたりしたことが楽しかった。」と話してくれました。
- ・バーベキューが楽しかったことや、食べ物に感謝していただくことを学んだと話してくれました。
- ・大人に言われて行動するのではなく、自分たちで考えて行動することの大切さを学べたようです。
- ・自然の中で、宿泊学習を実施し、自然に触れるよい機会になったようです。



【夕食づくりの様子】



【科学館見学の様子】

## 大久保中学校 6月2日(金)～3日(土)

宿泊場所：常陸太田市西山研修所  
活動場所：大久保中学校、西山研修所  
参加者数：130名

### 【学年スローガン】

「**は**こにこ笑顔、**し**っかり協力、**だ**んけつし、仲を深めよう！」

日程	体験活動名	活動内容
第1日	TOYOTA出前授業 レクリエーション	・講演、車両見学、eスポーツ体験 ・クラス対抗&学年合同レク大会
第2日	野外炊飯 創作活動	・カレーライス作り ・スクラッチアート体験



【実行委員会の様子】

### <成果>

- ・TOYOTA出前授業を実施したことで、生徒が「働くことの意義」について考えるきっかけとなり、次年度に予定されている職場体験学習への意欲が高まった。
- ・時間を守って行動することや、自分たちで声をかけ合って静かにすることなど、今後の学校生活においても、自ら考えて行動しようとする生徒が増えた。
- ・様々な体験活動を通して、友達を思いやる心や友達の優しさに触れ、豊かで優しい心を育てることができた。
- ・学年生徒会を中心に実行委員会の組織を作り企画・運営を生徒中心で行うことができた。

### <生徒の感想>

- ・宿泊行事を通してみんなで協力すること、自分たちで考え進んで行動することの大切さを学ぶことができた。
- ・TOYOTA出前授業の話を聞いて「働くことの意義」について学ぶことができた。職業人の話では、職業についてのアドバイスが心に残った。
- ・中学校に入り初めて泊まりに行き、学校では見られない友達の面白いところや優しいところが見られて良かった。

### <保護者の感想>

- ・雨で計画が変更し、できない活動もありましたが、臨機応変に対応していただき楽しく過ごすことができたようです。体験したことや、友達と過ごしたことをうれしそうに話してくれました。
- ・中学校でいきなりの宿泊で心配しましたが、子どもの表情や会話から、充実した1泊2日になったようで、いい経験ができてよかったですと思いました。
- ・友人と寝食を共にする初めての経験でしたが、みんなで協力して楽しく過ごせたようです。



【TOYOTA出前授業の様子】



【野外炊飯の様子】

河原子中学校 5月25日（木）～26日（金）

宿泊場所：奥日立きららの里  
 活動場所：リリーアカデミーキャンプセンター  
 参加者数：37名

【学年スローガン】

「努・協・思・高」～努力・協力・思いやり・高め合う～

日 程	体 験 活 動 名	活 動 内 容
第1日	野外活動 夕食づくり	・高鈴山登山 ・きららの里ウォークラリー ・夕食カレーづくり
第2日	自然体験活動 昼食づくり	・薪割り体験 ・火起こし体験 (まいぎり、ファイアスターターでの火起こし) ・ピザ作り体験 (ピザ生地づくり、ピザ焼き)



【ケビン班役割分担の様子】

< 成 果 >

- ・学年生徒会を中心に係を組織し、一人一人が役割を自覚しながら活動を進めることができた。
- ・高鈴山登山やカレー作り、火起こし体験を通して、級友と会話したり励まし合ったりし、協力する機会が生まれ、共に困難を克服する達成感を味わうとともに、友人や親への感謝の気持ちが育まれた。
- ・寝食を共にし、普段の学校生活ではできない体験を通して、互いの個性を知り認め合ったり、感動や達成感を共有したりしながら、学級の和を深めた。
- ・生徒のアンケートや作文から、随所に級友との助け合いや協力、新たに見つかった級友の個性や感謝の気持ちを読み取ることができ、学年スローガンの達成がうかがえた。学校での関わりが以前よりも活発になり、人間関係の広がりを感じることができた。

< 生徒の感想 >

- ・別の小学校出身の人たちとも仲良くなれた。友達とのコミュニケーションの取り方を学んだ。
- ・自分で考えて行動することができて良かった。自分の役割や時間を意識して行動することができた。
- ・特別活動推進事業を通して絆が深まったので、これからも協力して学校生活を良くしていきたい。
- ・登山で声をかけあいながら協力できた。自分や誰かの声かけが友達の成長につながるということを感じた。
- ・班長になって、責任をもって仕事をする事の大切さを感じた。また、自信がついた。
- ・友達と協力しながらウォークラリーをしたり、カレーを作ったりして、上手くいったことも失敗したことも良い思い出になった。楽しかった。

< 保護者の感想 >

- ・新しい学校で友達ができるか不安を抱えていましたが、家に帰ってきてから友達との楽しい思い出や良いところをたくさん話してくれて、これからの学校生活への期待も大きくなりました。
- ・登山や調理など今まで経験したことのないことを体験できて良かった。班の友達と協力して達成できたことで自信がもてたようです。
- ・今まで話したことのない友達と会話したり、同じ感動を味わったりする良い機会となったようです。



【高鈴山登山の様子】



【火起こし体験の様子】

泉丘中学校 9月7日(木)～8日(金)

宿泊場所：白浜少年自然の家  
 活動場所：白浜少年自然の家  
 参加者数：153名

【学年スローガン】

「一致団結～はじめをつけて、先生たちとゆかいな159人で、  
 宇宙一最高の体験学習をしまshow～」

日程	体験活動名	活動内容
第1日	学級別活動 キーラック制作 ミニオリエンテーリング 学年レクリエーション 心ゆたかな体験活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鬼ごっこ</li> <li>・焼き杉板でのオリジナルキーラック制作</li> <li>・60分4コースのオリエンテーリング</li> <li>・クイズ大会</li> <li>・話し合いを通して課題解決活動</li> </ul>
第2日	学年活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インドアビンゴ</li> <li>・ドッジボール</li> </ul>



<成果>

- ・学年生徒会を中心に実行委員を組織し、準備の段階から話し合い活動を段階的に進めていったことで、自らが中心となって行事を成功させようとする意欲を高めることができた。また、事後の生活において、クラスの中心として活動していこうという態度が多く見られるようになった。
- ・初めての活動が多かったが、全ての体験活動に意欲的に取り組もうとする生徒が多く見られた。
- ・生徒同士が協力して、活動することで、学級・学年としての集団意識が高まり、自主的に行動できる生徒が増えてきた。

<生徒の感想>

- ・宿泊学習全体を通して、今まで知らなかった友達のよさを知ることができました。また友達の大切さや協力することの大切さがわかり、一人ではできないこともできるようになることが分かりました。
- ・日程が変更になったこともあったが、時間を守って行動できた。
- ・友達に助けられたり、施設の方に教えてもらったりしたことで、周囲の支えがあって宿泊活動を終えることができたので、感謝の気持ちが強くなりました。

<保護者の感想>

- ・いろいろな楽しかった話の中で、今までには聞かれなかった友達の名前が聞かれ、新たな友達ができるよい機会となったようでした。
- ・ミニオリエンテーリング、学年レクリエーション、インドアビンゴではグループのメンバーと協力して、楽しい時間が送れたと話をしていました。



【入所式の様子】



【ミニオリエンテーリングの様子】



【学年レクリエーションの様子】



【学級レクリエーションの様子】



【焼き杉板キーラック作りの様子】



【インドアビンゴの様子】

## 台原中学校 5月30日(火)～31日(水)

宿泊場所：奥日立きららの里

活動場所：御岩神社、奥日立きららの里、かみね動物園

参加者数：34名

### 【学年スローガン】

「みんなで団結し、自然にふれあい、きずなを深める2日間」

日程	体験活動名	活動内容
第1日	御岩神社見学・散策	・御岩神社見学
	夕食作り	・夕食作り
第2日	朝食作り	・朝食作り
	かみね動物園見学	・かみね動物園見学



【話し合い活動の様子】

### <成果>

- ・スローガンを考えるときから、生徒が中心になって積極的に計画することができた。
- ・学級委員が中心となって、スローガンや役割分担を決め、クラスをまとめていこうとする姿が見られた。
- ・ケビンでの活動やグループ活動では、自分の係に責任をもって行動し、お互いに協力して行動することができた。
- ・スローガンのもと、クラスで活動したことを通して、今まで以上にきずなを深めることができた。

### <生徒の感想>

- ・一人一人が考えて行動することの大切さがわかった。
- ・友達の意外な一面やよいところを見つけたり、友達の仲を深めたりすることができた2日間で楽しむことができた。
- ・料理や家事の大変さを学んで、いつもお母さんはこういうことをやっているのかと思い、これからは手伝いたいと思った。
- ・友達と協力すれば、難しそうでも何事もできると思った。

### <保護者の感想>

- ・家庭では、甘えが出てしまいがちですが、ケビンでの子供たちだけの1日は、自ら考えて行動しないとならなかったことが大変だったけど、楽しかったと話してくれました。自信につながればいいなと思います。
- ・このような行事に参加でき、心身ともに成長できるよい経験だと思います。
- ・体験学習を何日も前から楽しみにしている様子でした。「友達のよいところを見つけられた」ということで、それだけでも有意義な2日間だったので感謝しています。



【御岩神社見学の様子】



【夕食づくりの様子】

日高中学校 6月1日(木)～2日(金)

宿泊場所：西山研修所  
活動場所：県立歴史館、西山研修所  
参加者数：79名

【学年スローガン】

「絆を深め、1人1人が個性を發揮し、  
相互に助け合える宿泊学習」

日程	体験活動名	活動内容
第1日	・県立歴史館見学 ・ウォークラリー ・火起こし体験	・施設、展示物見学、講話 ・西山研修所周辺コース ・火起こし
第2日	・野外炊飯	・カレーライスづくり



【歴史館見学の様子】

<成果>

- ・目的を理解し、生徒自身で話し合い解決策を考えることができた。
- ・様々な体験活動を通して、より多くの友達と交流し、絆を深めることができた。
- ・お互いに助け合ったり、声を掛け合ったりするなど協力して活動する姿が見られた。
- ・「火をおこせた」「カレーができた」など友達と成し遂げた達成感を味わうことができた。
- ・自宅と異なりみんなで定めたルールを守った生活をする中で、規範意識が高まった。
- ・よい思い出ができ、宿泊学習の終了後に望ましい人間関係の構築につながった。

<生徒の感想>

- ・最初は不安だったけれど、友達と楽しく過ごすことができた。
- ・ウォークラリーでは、班の仲間と協力して活動することができた。疲れていたけれど「がんばれ」「もう少しだよ」という友達の言葉が励みになってがんばれた。
- ・ウォークラリーでは、自然の中を歩いて気持ちがよかった。神社やお寺を発見したり、友達と話しながら活動したりして楽しかった。
- ・友達とトランプや怖い話をして楽しかった。
- ・火起こし体験では、なかなか火が着かなかったが、着いたときは感動してみんなで喜んだ。
- ・野外炊飯では、仲間と話し合いをしながら協力してカレーライスをつくり、苦労した分おいしく食べることができた。お互いに助け合いながらできた。
- ・小学校のときと違う友達と活動したので、新しく仲良くなった。
- ・雨が降ったけれど、みんなで楽しい時間を過ごすことができた。
- ・進行役や代表あいさつなどで緊張したけれど、無事にできて安心した。

<保護者の感想>

- ・今までコロナで活動が制限されていたが、宿泊学習が無事にできてよかった。友達と過ごす時間が長くて、トランプやおしゃべりが楽しかったようです。
- ・みんなでつくって食べたカレーライスはおいしかったようです。今度、家族につくってくれるそうです。
- ・当日までは不安そうだったけれど、帰ってきたときには楽しそうに話してくれました。うまくいったこともうまくいかなかったこともよい思い出になりました。
- ・天気が心配でしたが、雨の中でもカレーづくりができてよかったです。初めてやった火起こしがとても印象に残ったようで、うれしそうに話してくれました。
- ・歴史館に興味をもち、家族で行ってみようと思います。



【火起こし体験の様子】



【野外炊飯の様子】

豊浦中学校 6月22日(木)～23日(金)

宿泊場所：奥日立きららの里

活動場所：茨城県天心記念五浦美術館、たかはら自然塾

参加者数：65名

【学年スローガン】

「みんなで前進！ 心ゆたかな1学年 ～心をひとつに 発見の旅～」

日程	体験活動名	活動内容
第1日	○林業講座	・林業講座 ・箸作り、丸太切り
	○生活体験	・夕食づくり
第2日	○院展見学、日本画制作	・第107回 院展見学 ・日本画を題材にした墨絵制作
	○レクリエーション	・学級対抗ドッジボール大会



【生活班決めの様子】

<成果>

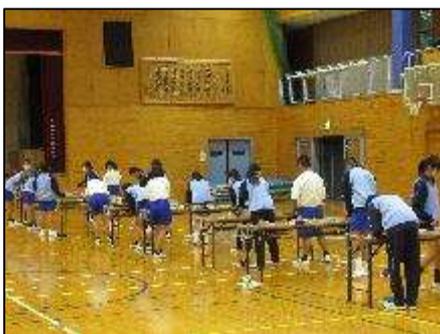
- ・一人一人が自分の役割に責任をもつことや、集団行動の中で周囲への思いやりの気持ちをもつこと、協力し合うことの大切さに気付くことができた。
- ・野外活動など、自分たちで考えて計画したことを実行できたことで、自信をつけることができ、自己肯定感が高まった。また、主体的に活動しようとする生徒が増えた。
- ・宿泊を伴う活動の中で、友達と互いに声をかけ合うことで、協力することの大切さを実感できた。
- ・普段の生活の中で、様々な人に支えられていることに気づき、家族や仲間に対する感謝の気持ちが高まった。

<生徒の感想>

- ・みんなが、お互いのために協力し合うと、絶対に成功すると思った。
- ・協力し、助け合うことで、自分も相手も良い気持ちになることがわかったので、これからもそのような関係をつくろうと思います。
- ・自分たちで計画を立てて実行するにはどうしたらよいか、クラスメイトと協力するにはどのように行動すればよいかわかった。
- ・箸作りや丸太切り体験をしたり、美術館では、普段はなかなか見る機会がない作品を見たり、とても良い体験ができた。

<保護者の感想>

- ・自分たちで食事をつくと聞いて心配でしたが、帰ってきて「おいしくできた」「みんなでつくって楽しかった」と話してくれて、少しずつ自分でできることが増えたと感じました。
- ・雨で御岩神社に行けなかったと残念がっていましたが、お箸を作ったり、ハガキに墨絵を描いたり、普段はできないような体験ができて、楽しい思い出がくれたようでした。



【箸作り体験の様子】



【日本画制作体験の様子】

久慈中学校 5月31日(水)～6月1日(木)

宿泊場所：奥日立きららの里

活動場所：かみね動物園、日立シビックセンター、ヨークベニマル

参加者数：101名

【学年スローガン】

「ひとりひとりが協力してみんなの絆を深める」

日程	体験活動名	活動内容
第1日	学年レクリエーション 班別買い物活動 自炊チャレンジ	・映画観賞 ・ドッジボール ・賢い買い物(食材購入) ・夕食カレーライスづくり
第2日	自炊チャレンジ かみね動物園見学 科学館体験学習 プラネタリウム見学	・朝食づくり ・動物の生態見学 ・星の学習



【話し合い活動の様子】

<成果>

- ・買い物活動や食事づくりなどの様々な活動を通して、固定していた交友関係に広がりが見られた。さらに集団生活・集団行動の楽しさも実感することができた。
- ・話し合い活動を行うことで、生徒同士のコミュニケーション力が養われた。特に自分の意見の伝え方や相手の意見の聞き方、複数の意見のまとめ方などを学ぶことができた。
- ・クラスや班で同じ目標に向かって活動することで、声をかけ合い、助け合ったり、協力したりして自主的に行動する姿が見られた。
- ・学年生徒会を実行委員とした組織をつくり、各係の責任者を務めたり、レクリエーションの内容を検討・準備したりした。リーダーとしての責任と自覚をもって行動することができた。
- ・買い物活動では予算内で工夫して食事メニューを考えたり、賢い買い物をしたりして、食育や消費者教育につながる協働的な学習ができた。

<生徒の感想>

- ・買い物や食事づくりを通して、友達と助け合ったり、良いところを見つけたりすることができた。
- ・友達がいつも以上に率先して行動し、みんなの役に立とうとしていた。それを見て、友達同士で協力することができた。
- ・別の小学校の友達や他のクラスの友達と一緒に食事づくりをしたり、ケビンの中で過ごしたりして仲良くなることができた。心ゆく体験学習プラスをきっかけに、友達が増えた。
- ・「時間を守る」「集団生活のルールを守る」を学校でも意識して行動できるようになった。

<保護者の感想>

- ・友達同士で食事のメニューを考えたり、買い物をしたりして、普段学校ではできない活動が経験できてよかった。ケビン内では色々な友達と話をしたり、トランプしたりして、とても楽しかったとうれしそうに話してくれた。
- ・雨で日程変更などどうなるのか心配だったが、宿泊行事ができ、みんなと楽しくケビンで一晩過ごすことができ、あっという間の2日間だったようだ。
- ・自分たちで買いそろえた食材を工夫して使い、友達と協力してつくったカレーやサラダ、卵料理がとてもおいしかったと話していた。早速、自宅でもカレーをつくってくれた。



【夕食づくりの様子】



【班別買い物活動の様子】

坂本中学校 10月12日（木）～13日（金）

宿泊場所：奥日立きららの里  
 活動場所：かみね動物園、吉田正音楽記念館、  
 御岩神社、日立シビックセンター科学館  
 参加者数：4名

【学年スローガン】  
 「安全に楽しく 日立市を学ぼう」

日程	体験活動名	活動内容
第1日	かみね動物園見学 吉田正音楽記念館見学 御岩山ハイキング 調理実習（夕食）	・御岩山ハイキング （御岩神社ハイキングコース） ・夕食づくり （カレーライス、サラダ）
第2日	調理実習（朝食） ウォークラリー 日立シビックセンター 科学館見学	・きららの里でのウォークラリー ・科学館・プラネタリウム見学 （日立シビックセンター）



【話し合い活動の様子】

<成果>

- ・何をするにも4人という少人数のため、一人一人の役割が非常に大きくなった。その分、その役割を果たそうという責任感を培うことができ、役割を果たすことで、達成感を得ることができた。
- ・役員を中心とした話し合い活動によって内容を検討するなど、生徒主体で準備を進めることができた。
- ・動物園や記念館等、日立市内の施設見学を通して、自然や歴史、科学等に対する興味・関心をもつことができた。
- ・励まし合い助け合いながら、全員でハイキングを実施することができ、困難に打ち勝つ心や思いやりの心を培うことができた。
- ・お世話になった施設の方への色紙づくりや、絵しりとりなどのレクリエーション活動を通して、協力することの大切さや楽しさを実感させ、学級の団結力を育むことができた。

<生徒の感想>

- ・バスの運転手さんや、きららの里の職員の方々へのお礼を言ったり、山登りの時に一般の方に挨拶をしたりすることができた。
- ・4人で協力して、一人一人役割を意識しながら生活することができた。
- ・友達のことを互いに考えながら行動することができた。
- ・ハイキングをみんなで達成できてよかった。

<保護者の感想>

- ・4人での活動が楽しかったようで、本当によかったです。



【御岩山ハイキングの様子】



【きららの里での退所式の様子】

十王中学校 9月7日(木)～8日(金)

宿泊場所：西山研修所  
活動場所：十王中学校、西山研修所  
参加者数：127名

【学年スローガン】  
「絆は学年へ！迷惑はゴミ箱へ」

日程	体験活動名	活動内容
第1日	体験活動1 (十王中)  体験活動2 (西山研修所)	・体軸体操、ズンバダンス 中国語・おもしろ数学 イラスト(似顔絵) ※2つ選択して体験 ・野外炊飯(カレーづくり)
第2日	体験活動3 (西山研修所)	・ウォークラリー ⇒台風接近のため中止



【話し合い活動の様子】

<成果>

- ・仲間と語り合い、寝食を共にすることで、生徒同士の理解を深め合うことができた。
- ・話し合いやグループ活動、行事の運営などからリーダー育成を図ることができた。
- ・バスの座席、活動グループを工夫して設定したことで、友人関係を広めるきっかけになった。
- ・時間をより意識するようになり、また、周りを気遣って行動することができるようになった。

<生徒の感想>

- ・普段話さない人とバスで隣になったが、その人のよいところをたくさん見つけることができた。
- ・自分の仕事で大変なことがあったら、手伝ってくれる優しい人がたくさんいることが分かった。
- ・野外炊飯の時に、一人一人が協力して苦手なところをカバーしながらカレーづくりができた。みんなで作ったカレーはとってもおいしかった。
- ・部屋長や係の人に全てをまかせるのではなく、声をかけて協力してルールを守って過ごせた。みんなと楽しく過ごすにはどうすればよいのかを考えて行動することができた。

<保護者の感想>

- ・楽しそうに話す会話から自分の役割を果たし、充実した活動ができたのだと感じました。
- ・集団宿泊生活を経験したことで、てきばきと行動する姿が見られるようになり、たくましくなったと思いました。
- ・今まで聞いたことがない友達の名前が聞かれるようになり、友人関係が広がったように思います。



【体験活動(体軸体操)の様子】



【野外炊飯の様子】

中里小中学校 7月13日(木)～14日(金)

宿泊場所：たかはら自然塾  
活動場所：たかはら自然塾、日立シビックセンター  
参加者数：12名

【学年スローガン】

「共に学び、協力し、仲間の良いところを見つけよう ～楽しい2日間にしよう～」

日程	体験活動名	活動内容
第1日	穂積家住宅見学	・穂積家住宅の見学
	木工体験	・えんぴつ立てづくり
	カレーづくり	・夕食づくり
第2日	野外活動	・御岩山ハイキング
	科学体験	・科学館見学 (日立シビックセンター)



【話し合いの様子】

<成果>

- ・2日間の活動を通して互いにコミュニケーションがとれたことで、積極的に声をかけ合い、協力する様子が見られるようになった。団結力や親密さが増した。
- ・与えられた役割以上の働きを、周りの状況を見て行動できるようになった。
- ・友達の良さに気付いて、考え方や意見を認め、寛容な心で接しようとする様子が見られるようになった。

<生徒の感想>

- ・自分からみんなが進んで取り組む姿が、とても良かった。人と人の協力が大事で、楽しく活動することができた。
- ・話し合いを通して、みんなと共通理解をすることの大切さを学びました。
- ・みんなの良いところを見つけることができたので、学校生活に生かしていきたい。
- ・男女関係なく楽しんだり、協力したりすることができた。

<保護者の感想>

- ・小学校から宿泊活動に参加することができなかったので心配したが、帰ってきて話を聞くと、とても楽しかったと言っていて嬉しく思った。
- ・少人数だからこそ、このような機会がクラスメートとの仲が深まると思う。子供が宿泊活動の出来事を嬉しそうに話しているのを見て親も嬉しく思った。



【穂積家住宅で話を聞く様子】



【飯ごうでご飯を炊いている様子】

## 日立特別支援学校 6月15日(木)～16日(金)

宿泊場所：たかはら自然体験交流施設「たかはら自然塾」  
活動場所：たかはら自然体験交流施設「たかはら自然塾」  
参加者数：14名

【学年スローガン】  
「かがやけ 笑顔！」

日程	体験活動名	活動内容
第1日	・うどん打ち体験 ・竹細工製作  ・夕食づくり	・小麦粉からうどん玉を作る。 ・工具を使った、竹とんぼ・ガリガリとんぼ作り。飛ばし方講座。 ・うどんづくり。レトルトカレーのつくり方。
第2日	・鉛筆立て製作	・木材クラフト



【係活動の様子】

### <成果>

- ・自分の役割を自覚して、最後までやり遂げようとする姿が見られた。
- ・仲間と協力して、一つ一つの体験や食事などを楽しもうとする姿が見られた。
- ・宿泊に伴う力(食事、身辺整理、入浴、身支度、就寝準備等)を身に付けることができた。
- ・親元を離れても自分の力で何とかしようとする機会がつくれた。
- ・挨拶や言葉遣いが良くなってきた。
- ・体験を積むことで生徒が成長できた。
- ・お互いのことを知ることができ、相互理解につながった。

### <生徒の感想>

- ・いろんなことをがんばって、うまくできた。
- ・オリエンテーリングが楽しかったです。うどんをつくって楽しかった。
- ・ヤギとしゃしんをとりました。レクリエーションでおにになって、タッチしました。
- ・花火が楽しかったです。きこえてきた曲が良かったです。
- ・えんぴつ立てをつくってがんばった。

### <保護者の感想>

- ・無事に参加できて本当に成長しているのを感じました。
- ・病院受診などがあったため、数時間だけの参加でしたが楽しそうにしていたので良かったです。
- ・気圧による影響が大きいこの季節に、通いでしたが長い時間参加することができ良かったです。たくさんの体験ができ、本人の自信にもなったと思います。
- ・竹細工体験で製作した「竹とんぼ」を自宅でも飛ばして見せてくれました。様々な活動をし、良い体験になったようです。
- ・よく眠れた様子で、良かったです。本人が先生たちや友達に心を預けていることが分かりました。みんなと同じイベントにも参加できたとのことでうれしく思います。
- ・親の心配をよそにととても楽しかった様子で、数日間はずっと宿泊学習の話をしていました。
- ・本人から楽しかったとの事。うどんづくりやカレーづくり等、とても楽しんで帰宅しました。
- ・しっかりできたみたいで、成長を感じうれしく思います。帰ってきた時に、「楽しかった。」と、言っていてよかったと思います。
- ・うどん打ちや竹とんぼづくり、とても楽しかったそうです。普段経験できないことや、規律正しい生活をするのができて良かったと思います。



【竹細工体験の様子】



【うどん打ち体験の様子】